



梯 剛之 (Pf)
Kakehashi
Takeshi



澤 和樹 (Vla)
Sawa
Kazuki



ドミトリー・
フェイギン (Vc)
Dmitry Feygin



松本紘佳 (Vn)
Matsumoto
Hiroka

室内楽の魅力 名手たちの饗宴 2023年5月9日(火) フィリアホール

東急田園都市線青葉台駅前東急スクエア5階



西澤誠治 (Cb)
Nishizawa
Seiji



F. シューベルト作曲 即興曲 D. 889
F. Schubert Impromptus D. 889
ピアノ五重奏曲「鱒」 D. 667
Piano Quintet "Die Forelle" A-Dur D 667

N. パガニーニ作曲 イ・パルピティ Op. 13
N. Paganini I Palpiti Op. 13

Z. コダーイ作曲 ヴァイオリンとチェロのためのデュオ Op. 7
Z. Kodály Duo for Violin and Cello Op. 7

午前の部 10:45 開演 0歳からのバリアフリーコンサート 親子で楽しむ1時間 (舞台の上)
午後の部 15:30 開演 0歳からのバリアフリーコンサート 親子で楽しむ1時間 (舞台の上)
夜の部 19:00 開演 コンサート (小学生以上のみ入場可)

【午前・午後の部】
親子1組・一般 2,000円 追加家族1名 500円

【夜の部】
親子(中学生以下1名)・一般 4,500円
学生 2,500円



主催: 愉音 <https://www.yuon.net>

助成: 東急子ども応援プログラム

後援: 青葉区役所

チケット 愉音 ticket.info.222@gmail.com 090-6543-5456
販売: チケットぴあ 0570-02-9999
(Pコード 238840, 238841, 238842)



梯 剛之
Kakehashi
Takeshi (Pf)

小児癌により生後1カ月で失明。ロン＝ティボー国際コンクール（パリ）第2位及びSACEM賞（リサイタル賞）、ショパン国際コンクール ワルシャワ

市長賞、出光音楽賞、他受賞多数。ソリストとして仏国立ロアル管弦楽団、NHK交響楽団、他と共演。小学校卒業と同時にウーレン国立音楽大学準備科に入学、エリザベート・ドヴォラック＝ヴァイスハール教授に師事。「子供に伝えるクラシック制作委員会」を設立。約7年をかけウィーンの生んだモーツァルト、ベートーヴェン、シューベルトの作品の弾き語りをDVDにし、文科大臣の推薦を得て日本全国の小学校、特別支援学校海外の日本人学校・補習授業校に無償配布。現在も継続し各地の小中学校の訪問演奏を行う。数多くのCDをリリースし「レコード芸術」誌で特選盤に選出されている。
<https://www.kakehashi-takeshi.com>



松本絃佳
Matsumoto
Hiroka (Vn)

13歳でハンガリー・リスト室内合奏団とヴィヴァルディ「四季」全曲弾き振りでデビュー。ソリストとして、ハンガリー・ジェールシンフォニー管弦楽団、

ドイツ・イエナシンフォニー管弦楽団他、国内主要オーケストラと共演。ヴィエニャフスキ・リビンスキ国際コンクール・ジュニア部門第2位、全日本学生音楽コンクール東京大会及び全国大会小学校の部第1位（全部門中最高得点）他受賞多数。原田幸一郎、ザハール・ブロン、ジェラルド・ブーレ、ボリス・クシュニールの各氏に師事。明治安田生命QOL財団奨学生及び文化庁新進芸術家海外研修員として2016年ウィーン市音楽芸術大学を、2019年同大学大学院をそれぞれ最優秀の成績で卒業。2022年秋よりイタリア・クレモナの名門シユタウファール財団アカデミー主催コンサートマスターアーティストディプロマコース奨学生。
<https://www.hirokamatsumoto.com>



梯 孝則
Kakehashi
Takanori (Vla)

1943年福岡県久留米市生まれ。国立音楽大学卒業。東京都交響楽団を経てN響入団。現在もフリーで演奏活動をしている。



澤 和樹
Sawa
Kazuki (Vla)

1979年、東京藝術大学大学院修了。「安宅賞」受賞。ロン＝ティボー、ヴィエニャフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞。イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダル受賞

などヴァイオリニストとして国際的に活躍。'89年には、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院に派遣され、さらに研鑽を重ねた。この時期、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの出会いにより澤クワルテットの結成を決意する。ヴァイオラ奏者としては、これまでアマデウスQメンバー、グスタフ・マラーQ、クスQ、カードウッチQらと共演。ハンシェルQとは'08年にマックス・ブルッフの弦楽五重奏曲の世界初演及び世界初録音を、'12年にはスバイン王室内所蔵のストラディヴァリウスによる弦楽五重奏を演奏し、絶賛された。東京藝術大学音楽学部教授、音楽学部長を経て'16年より'22年まで東京藝術大学長、東京藝術大学・英国王立音楽院名誉教授。東京大学先端科学技術研究センター・フェロー。



ドミトリー・フェイギン
Dmitry
Feygin (Vc)

1991年モスクワ音楽院大ホールにてアレクサンドル・ヴェテルニコフ指揮によるチャイコフスキー

作曲『ロココのテーマによる変奏曲』でデビュー以降、国際的に活動。モスクワ音楽院中央付属音楽学校にて英才教育を受け、後にモスクワ音楽院へ入学、同大学院を卒業。その間、有名なチェリストであった父、ヴァレンティン・フェイギンにチェロを、室内楽をシヨスタコヴィッチ室内楽団のチェロ奏者アレクサンドル・カルチャーギンなどに師事する。CARINTHISHERフェスティバル（奥）、カルマル・フェスティバル（仏）、オレグ・カガン・フェスティバル（露）、モスクワ11月芸術祭などに出演。2018年には、バツハ無伴奏チェロ組曲全曲CDをリリース、全曲演奏会を行った。2020年、20世紀無伴奏チェロ曲集コダーイ、レーガー、ヴァインベルクCDをリリース。現在、東京音楽大学教授。



西澤誠治
Nishizawa
Seiji (Cb)

札幌市生まれ。東京藝術大学卒業、及び大学院修了。東京シティ・フィルを経て読売日本交響楽団入団、首席奏者も務めた。ソロ、室内楽

でも盛んに活動している。特にモーツァルトのバス歌手とコントラバス奏者のためのコンサート・アリア『Per questa bella mano』（このうれしい御手のために）K.612では世界的バス歌手Conal Coad氏と共演した。なお、この曲の演奏の際にはウィーン式調弦のコントラバスを使用した。（a.F#.D.A.F.の変則調弦）現在、読響を定年退職しフリーランス。客演首席として国内外のオーケストラに招聘されている。また古楽奏者としてはバッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカに創立時より加わり、数々のコンサート、レコーディング、海外ツアーに参加している。

繊細な美の極致、溢れる色彩、
シューベルト×パガニーニ×コダーイ
作曲家が挑戦した見事なヴィルトウオージティを聴く